

令和2年11月27日(金)

教材名

主題名 自分のいいところ

「いいところ みつけた」

(小学道徳 生きる力2「日本文教出版」)

本単元で育成する資質・能力

主体性・表現力

1 ねらい

自分や友達のよいところについて考えるなかで、よいところが見つかることととてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養う。

2 主題設定の理由

- 本主題は、小学校学習指導要領第1学年及び第2学年、第5学年及び第6学年の内容A(4)「個性の伸長」の内容に基づき設定した。学習指導要領には、以下のように示されている。

〔第1学年及び第2学年〕

自分の特徴に気付くこと。

〔第5学年及び第6学年〕

自分の特徴を知って、短所を改め長所を伸ばすこと。

(1) 主題について

自分のよいところを見つけることは、児童が自己肯定感を高め、将来にわたって自分のよさを発揮していくために大切である。しかし、児童は自分自身を客観視することが十分にできるとは言えないが、ほめられてうれしかったことや注意されて改めたことなど、他者からの評価によって自分の特徴に気づくことがある。他者との関係によって、自分の特徴への気づきをより確かなものにしていく必要がある。友達とよいところを見つけ合うことで児童が自分自身のよいところに目を向けたり、周りの友達や教師がそれを認め、励ましたりすることで児童が自ら新たな長所を見つけようとする態度の育成につながる。

(2) 児童観

主題に関する実態

本学級の児童は、6年生1名、2年生5名からなる自閉症・情緒障害特別支援学級である。自分や友達のよいところに関するアンケートをとったところ、「自分にはよいところがあるか。」という質問に対して肯定的な回答をした児童は5名、否定的な回答をした児童は1名であった。否定的な回答をした児童の理由は、「こんな私によいところがあるのか。自分ではあると思わない。」であった。「学級の友達のよいところを知っていますか。」という質問に対して肯定的な回答をした児童は5名、否定的な回答をした児童は1名であった。しかし、肯定的な回答をした児童のうちの4名は、「それはだれのどのようなところですか。」という質問に、「みんながんばっている。」と抽象的な回答をしていた。自分のよさは認識しているが友達のよさにはあまり目を向けない児童、友達のよさは多く見つけているが自分のよさには気づこうとしない児童がいる。

資質・能力に関する実態

本学級の児童は、進んで自分の考えを発表する児童が決まっており、いつも同じ児童が発表することが多い。進んで発表しない児童は、恥ずかしいから、何と言ったらよいか分からないから、面倒くさいからなどの理由が挙げられる。分かっている言葉にして表現することが難しい児童が多い。また、自分の考えを伝える際にただ自分の言いたいように言うことが多く、相手に伝わらないことがある。相手のことを考えていないことが原因だと考えられる。それぞれの児童にあった支援をしながら、主体性とそれに伴う表現力を育てていきたい。

(3) 指導観

本教材は、自分はおとなしくてあまり人に褒められないと思っていた主人公のりえさんが、先生に指摘されて、小さい子の面倒をよくみる優しさが自分のよさであることに気づき、とてもうれしくなるという話である。自分や友達のよいところについて考えることを通して、よいところは技能面だけでなく優しさなどの性格面等いろいろなことに気づき、自分や友達のよさを見つけようとする態度へとつなげることでできる教材である。

指導にあたっては、学級のみんなで一緒によいところを見つける活動に重点を置き、児童が自分のよいところを見つけることができるようにしていく。導入では、自分のよいと思っているところを確認し、それが周りからもよいと思われているかというずれを感じさせる。展開前半では、教材文から、自分のよいところを見つけることのうれしさを知るようにする。展開後半では、よいところを見つける活動を行う。よいところを見つけてもらおうとうれしくなるという気持ちから、進んで友達のよいところを見つけられるようにする。**(主体性)** 自分のよいところが見つからないという児童には、友達が見つけたよいところからそれが自分のよいところだと認識できるようにする。友達のよいところが見つからないという児童には、友達が何かしてもらったことや友達が頑張っている様子を想起させ、それが友達のよいところであると気づかせる。その際、漠然とした言葉ではなく、言われた相手がどのようなところか分かるように伝えさせる。**(表現力)**

終末では、授業で感じたことや考えたことを通して、自分のよいところを知り、どのようにして今後の生活に生かすことができるか考える時間とする。

3 本単元において育成しようとする資質・能力とのかかわり【主体性・表現力】

〔主体性〕

誰かによいところを見つけてもらおうとうれしくなるという気持ちに気づくことを通して、自分や友達のよいところを進んで見つけ、自分事として主体的に授業に取り組む。

〔表現力〕






自分がされてうれしい気持ちになるように、これまでの経験を踏まえながら友達のよいところを分かりやすく伝える。






4 パッケージ型ユニット道徳（全4時間）

ユニットテーマ「自分っていいね」では、自ら考え、粘り強く学び合える児童の育成を目指す。本学級の児童は自分のよさや友達のよさを感じることに於いて、考え方には個々の差があり、自分のよさは認識しているが友達のよさにはあまり目を向けない児童、友達のよさは多く見つけているが自分のよさには気づこうとしない児童がいる。

それを受けて、授業の事前に、今後どのような自分になりたいかを考える。道徳では、みんなと仲良く生活するために、どのような自分になるとよいかを考えることを伝え、ユニットテーマ「自分っていいね」につなげていく。第1時では、最後まで諦めずに頑張ることのよさ、第2時では、素直になることのよさ、第3時では、親切にすることのよさ、第4時では、自分のよさに気づくことについて考えていき、ユニットの締めくくりとして全体を貫くテーマ「自分っていいね」に迫っていきたい。

今後は、全員が自分のよさを生かしながら、集団の中での自分の存在を感じさせたい。そして、友達のよさも認め合いながら、相互に高め合える学級づくりにつなげていきたい。

	「教材名」 内容項目・主題名・ねらい	予想される児童の反応	他の教育活動など
事前	<p>課題発見</p> <p>みんなは、どんな自分になりたい？ また、この学級ではどんな自分でありたい？</p> <p>みんなを笑顔にさせたい。 みんなを楽しくさせたい。</p> <p>困っている友達を助けたい。 どんな相手でも、同じように接したい。</p> <p>ユニットテーマ「自分っていいね」 【学習課題】 みんなと仲良く生活するために、どのような自分になるとよいだろうか。</p>	  	<p>学級活動（6年） 「自分の力を発揮する発表について考えよう」</p> <p>学級活動（2年） 「学級とじぶんの目標を振り返ろう」</p>
第1時	<p>「なわとび」 A希望と勇気、努力と強い意志 【めあてにむかって】 うまくいかなくても何度も練習して跳べるようになった「わたし」の達成感を通して、困難から逃げ出さず、根気強く努力して、目標に向かって最後までやり抜こうとする心情を育てる。</p>	<p>諦めずに最後まで頑張ると、うれしい気持ちになる。 苦手なことも最後まですると、得意になるかもしれない。</p> 	<p>体育科（6年） 「マット運動」</p> <p>体育科（2年） 「てっぽうあそび」</p>
第2時	<p>「お月さまとコロ」 A正直、誠実 【すなおな心で】 コロの気持ちの変化を通して、</p>	<p>素直になって、これからも友達と仲良くしたい。</p> 	<p>自立活動（2・6年） 「こんなときどうする？」</p>

	自分に素直になることがはればれとした気持ちになることに気づき、素直に謝ろうとする態度を養う。	素直な気持ちになって謝ると、心がすっきりする。 	
第3時	「ありがとうって言われたよ」 B親切, 思いやり 【やさしくできた】 「ありがとう。」と言われたことを通して、人に親切にしてあげることの喜びに気づき、身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする態度を養う。	誰かに優しくすると、自分もうれしくなる。 「ありがとう。」と言われると、親切にすることを続けたいくなる。 	国語科(2年) 「あそびのやくそくを話し合おう」
第4時 (本時)	「いいところみいつけた」 A個性の伸長 【自分のいいところ】 自分や友達のよいところを考える中で、よいところが見つかることととてもうれしい気持ちになることに気づき、自分のよいところを見つけていこうとする態度を養う。	友達から自分のよいところを見つけてもらおうとうれしい。 友達に言われて、新しい自分とよいところに気づいた。 	学級活動(2・6年) 「よりよい人間関係をつくらう」
事後	実行・振り返り  みんなと仲良く生活するためには、自分のことだけでなくみんながうれしくなることを考えて過ごしたいね。  自分のよさも友達のよさも、これからもたくさん見つけていきたいな。		

ユニットにかかわる児童の様子	
A児	
B児	
C児	
D児	
E児	
F児	

5 本時の展開（4／4時間）

(1) 個別のねらい

A児	友達が見つけた自分のよいところを知ることで、それが自分のよいところであると把握し、よいところを伸ばそうとする態度を養う。
B児	自分のよいところを見つけてもらううれしさを知ることで、進んで友達のよいところを見つけようとする態度を養う。
C児	自分の知っている自分のよいところを改めて知るとともに、友達が見つけた自分のよいところを知り、新たな自分を知らうとする態度を養う。
D児	自分の知っている自分のよいところを改めて知るとともに、進んで友達のよいところを見つけようとする態度を養う。
E児	自分のよいところを見つけてもらううれしさを知ることで、進んで友達に友達のよいところを伝えようとする態度を養う。
F児	自分の知っている自分のよいところを改めて知るとともに、進んで友達のよいところを見つけようとする態度を養う。

(2) 準備物

教科書 ワークシート 挿絵 よいところカード 写真

(3) 展開

	学習活動	主な発問 (○) 予想される児童の反応 (・) 問い返し (*)	指導上の留意事項 (☆評価の観点)
導入	<p>1 ユニットテーマを確認し、本時の課題と知る。</p> <p>主体性 自分が思っている自分のよいところが、友達もそのように思っているか考えることで、自分事として捉える。</p>	<p>○自分のよいところってどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・勉強を頑張っているところ。 ・困っている人に優しくしているところ。 ・元気な挨拶をしているところ。 <p>○まわりのみんなは、自分のどんなところをよいとってくれていますか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんなふうにも思ってくれているか分からない。 ・自分が思っているよいところと同じところ。 <p>めあて：自分のよいところってどんなところだろう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本ユニットの掲示を確認し、これまで考えてきたよいところを想起させる。 ・「いいねの木」にはみんながよいと思っていることが書かれていることから、みんながどのように思っているかを確認させる。 ・導入の時点では、自分のよいところが見つからなくても、そのまま進める。
	<p>2 教材文「いいところ みつけた」の1段落目を読み、話し合う。</p> <p>3 教材文「いいところ みつけた」の2～6段落目を読み、話し合う。</p>	<p>○りえさんは、どんな子でしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おとなしい子。 ・運動が得意じゃない子。 ・あまり褒められない子。 ・弟がうらやましい。 <p>○しょうた君に本当のことを分かってもらえなくて、りえさんはどんな気持ちでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・悲しい。 ・本当のことを分かってくれなくて嫌な気持ち。 ・本当のことを分かってほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・りえさんが自分のことをどう思っているか考えさせ、この段階では自分のよいところに気づいていないことを確認させる。 ・しょうた君は、りえさんのことをどんな子だと思っているのかをおさえ、りえさんのよいところには気づいていないことを捉えさせる。

4 教材文「いいところ みつけた」の7, 8段落目を読み, 話し合う。

○先生の言葉を聞いて, りえさんはどんな気持ちになったでしょう。

(6年生)

- A 自分のことをもっと好きになるために, これからの生かし方を考えている。
- A どのようにしたらこれから自分のよいところを伸ばせるか考えている。
- B 先生は自分のよいところを分かっていたということに気づいている。
- C 先生に褒められてうれしく思っている。

- ・自分のよいところは, ~なところで生かすことができそうだ。(A)
- ・これからは, 自分のよいところに自信をもちたい。(A)
- ・これからも, 小さい子に優しくしよう。(A)
- ・自分のよいところは, 小さい子の面倒をよくみるということなんだ。先生に言われて気がついたよ。(B)
- ・自分では自分のよいところが分からなかったけど, 先生は分かっていたくれたんだ。(B)
- ・先生に褒められてうれしい。(C)

(2年生)

- A まわりの人に自分のよさを気づいてもらおううれしさから, 友達にもその友達のよさを伝えようとしている。
- A 先生は自分のよいところを分かっていたということに気づいている。
- B 自分のよいところが分かかってうれしく思っている。
- C 先生に褒められてうれしく思っている。

- ・まわりの人に自分のよいところを見つけてもらってうれしかったから, 自分も友達のよいところを見つけよう。(A)
- ・自分では自分のよいところが分からなかったけど, 先生は分かっていたくれたんだ。(A)
- ・自分のよいところってこんなところだったんだ。(B)
- ・先生に褒められてうれしい。(C)

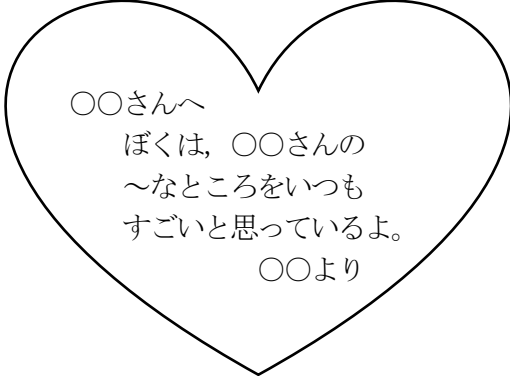
*まわりの人に自分のよいところを気づいてもらえなかったら, もう頑張らなくてよいのでしょうか。

- ・気づいてもらえなくても, 頑張った方がよい。
- ・自分のよいところだから, 伸ばした方がよい。
- ・頑張っていたら, いつかまわり的人也分かってくれるかもしれない。

*みんなは友達のよいところに気づくことができそうですか。

- ・自分も見つけてもらったらうれしいから, 気づくことができそう。
- ・いつも友達にやさしくしてもらっているから, それがその友達のよいところだと思う。

- ・先生に認められたことで自分のよいところに気づいたことを捉えさせる。
- ・「うれしい」ではなく「とってもうれしい」のはどうしてか注目させる。
- ・自分のよいところには, 技能面だけでなく性格面にもあることに気づくことができるようにする。
- ・先生に自分のよいところを分かってもらえてうれしいということだけでなく, それを今後の生活にどのように生かすことができるか考えられるようにする。

	<p>5 友達のよいところを見つける活動を行う。</p> <p>主体性 誰かによいところを見つけてもらうとうれしくなるという気持ちに気づくを通して、友達のよいところを進んで見つける。</p> <p>表現力 これまでの経験を踏まえながら友達のよいところを分かりやすく伝える。</p>	<p>○なかよし2組の友達のよいところは、どんなところがあるでしょう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・○○さんは勉強を頑張っている。 ・○○さんは係の仕事を頑張っている。 ・○○さんは～ができるからすごい。 ・○○さんは～していたから優しい。 ・○○さんは自分では～だと思っているようだけど、ぼくは～なところがよいと思う。 ・ぼくが～ができなくて困っていたときに、優しく教えてくれたから、○○さんは優しいところがよいと思う。 <div style="text-align: center;">  <p>○○さんへ ぼくは、○○さんの ～なところをいつも すごいと思っているよ。 ○○より</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> ・今までの頑張っている姿や協力し合っている姿などの写真を提示し、友達のよいところを見つけやすいようにする。 ・まわりの人からよいところを見つけてもらうとうれしいということを押さえ、自分がされてうれしいことを考えられるようにする。 ・よいところを見つけたら発表させ、書き方が難しい児童へのヒントとなるようにする。 <p>☆よいところが見つかるとてもうれしい気持ちになることに気づき、進んで友達のよいところを見つけている。(発言・よいところカードへの記述)</p>
<p style="text-align: center;">終 末</p>	<p>6 今日の学びとユニット全体を振り返る。</p> <p>主体性・表現力 友達が見つけた自分のよいところから、改めて自分のよいところを考える。また、導入のときに比べてどのように変わったか伝える。</p>	<p>○自分のよいところってどんなところですか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・友達に自分のよいところを見つけてもらって、自分の知らなかったよいところが分かった。 ・自分のよいところをこれからの生活で生かしていきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・導入のときと同じ発問をし、友達が見つけた自分のよいところを知ることによってどのように変容したか確認する。 ・本時で学んだことを振り返り、今後の生活でどのように生かすことができるか考えさせる。 <p>☆自分や友達のよいところについて考えるなかで、自分のよいところを見つけようとしている。(発言・ワークシートへの記述)</p>

自分のための日本語

友だちのための日本語

見つけた

いいた

りえさんは、
どんな子で
しょう。

・先生によい
ところを見つ
けてもらって
うれしい。
・これからも
まかしていき
たい。

先生の言葉を聞
いて、りえさん
はどう思ったで
しょう。

めんどろをみる
ところがよい
ところだね。

りえ

・おとなしい。
・あまりほめられない。
・羞かづらやましい。

・かなしい。
・いやな気持ち。
・今かたてほしい。

・そうじにお
くれてくる。
・そうじをき
ほっている。
・言い訳して
いる。

・めんどろをみる
ところがよい
ところだね。